

# 会 派 代 表 質 問 通 告 書

令和 8 年 2 月 2 5 日

高島市議会議員 河越 安実治 様

会 派 名 ( 市民クラブ すばる )

高島市議会議員 15 番 高木 広和

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁  
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 1) 発 言 事 項	令和8年度予算・財政（長期財政計画）について
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	<p>8年度予算案が提案され7年度3月の骨格予算、6月補正予算を合わせた約328億円より約11億円減の317億3千万の予算案となっています。</p> <p>この予算の減は、基幹業務系システム機器等更新事業やICT教育機器整備事業、国民スポーツ大会・障がい者スポーツ大会準備事業などが終了したことにより減少したもので、厳しい財政状況が大きく改善されたものではないと考えますが、令和8年度予算についての見解を伺います。</p> <p>また昨年の3月議会の代表質問で市長が公約として掲げられた新しいビジョンの実現に向けた大まかなスケジュール</p>

ルについての質問には、政策を進めるために、担当部局、関係機関、関係者と協議を始め実施体制づくりを進めるという答弁でありましたが、新しいビジョンについてどのように反映されているのか、新しいビジョンについての進捗や考えを伺います。

次に、同じく3月議会で市の財政状況について質問したところ、令和7年度中には長期財政計画を見直し、市民の皆様にお示しするとの答弁がありました。今回、厳しいスケジュールの中でありながらも、出来る限りの詳細な長期財政計画を示していただきました。

今回、示していただいた令和7年度から令和16年度までを計画期間とする長期財政計画の中で、行財政改革の取り組みをしなければ、令和12年度には財政調整基金の残高がなくなり、収支不足に陥るとの見通しが示されました。市長も改訂が必要としてつくられた長期財政計画についての見解を伺います。

このような厳しい財政状況の厳しい中で、長期財政計画の期間中に取り組む行財政改革として

- ① 人件費の抑制
- ② 物件費の抑制
- ③ 維持補修費の抑制
- ④ 補助費等の抑制
- ⑤ 投資的経費の抑制と平準化

## ⑥ 基金の活用

の6項目を主に取り組む項目としてあげられています。

しかしながら、今回、示された行財政改革を進められても、10年間で約70億円、基金残高は減少する見込みであります。また、現在の予算におきましては、財政調整基金により財源不足を補填している状況であることから、今後、長期財政計画に合わせた基金の積み立てが必要と思われませんが、基金に対する考えを伺います。

高島市公共施設再編計画では、今後10年間で20%の削減目標が示されていますが、長期財政計画では、このままの状況で進んでいくと、令和12年で財政調整基金の残高がなくなると予想されています。こうした現状を踏まえ公共施設の具体的な目標設定や各事務事業の事業レビューなどを実施する必要があると思いますが見解を伺います。

これから予定されている、多額の予算をとまなう公共工事となる、新ごみ焼却施設建設と付属する道路等の建設、マキノ小学校新築建設、マキノ中学校改修工事、安曇小学校長寿命化工事、マキノ産業立地の今後の予算の見通しと、財政に対する見解を伺います。

最後に、これまでの予算や、今回の長期財政計画には、歳入の増加は見込まれておりませんが、全国の自治体では、ふるさと納税の増加の報道や、その効果などの話題も聞こえて

きます。市のふるさと納税は、近年、毎年約6億円で推移していますが、今後、ふるさと納税を増加させる新たな取り組みを考えているのか伺います。